

令和8年1月発行

第210号

発行所

水戸市農業委員会事務局

水戸市中央1丁目4番1号

☎ 224-1111(内線 6412)

年4回発行

# 水戸市農業委員会だより

## 新年のごあいさつ



水戸市農業委員会会長  
世沼 恭一

あけましておめでとうござい  
ます。皆様には、輝かしい新春  
を迎えられましたこと心からお  
慶び申し上げます。日頃から  
委員会の活動に對しまして、農  
家の皆様はもとより関係機関の  
皆様には深いご理解とご協力を



水戸市農業委員会会長代理  
皆川 晃

賜り、厚く御礼申し上げます。  
昨年発表された「2025年  
農林業センサス(速報値)」に  
よると、農業従事者は前回調査  
から約25%減と過去最大の減少  
率となりました。これまでも高  
齢化や担い手不足による農業従



水戸市農業委員会会長代理  
大園 金雄

事者の減少は喫緊の課題とされ  
てきましたが、あらためて深刻  
な状況が浮き彫りになったとい  
えます。このままでは、遊休農  
地の増加など、地域農業に大き  
な影響を与えることが懸念され  
ます。地域農業を守るため、担

## 新年のごあいさつ



水戸市長  
高橋 靖

あけましておめでとうござい  
ます。皆様には、お健やかに新  
年をお迎えのこととお慶び申し  
上げます。  
さて、我が国においては、高  
齢化や人口減少の本格化により、

農業者の減少や耕作放棄地が拡  
大し、地域の農地が適切に利用  
されなくなることが懸念されて  
おります。  
このような中、本市では、令  
和七年三月に地域農業の将来の  
在り方を明確にするため、農業  
者の皆様や関係者の話し合いに基  
づき、農業委員会の皆様と協働

たりまして、皆様に多大なるご  
尽力を賜りましたこと、改めて  
感謝申し上げます。  
今後、「地域計画」が実情  
に合ったより良いものになるよ  
うに、農地の集積・集約化等に  
ついて、地域の皆様や関係機関  
との話し合いを進めながら、定期  
的にブラッシュアップを図り、  
地域農業の維持と発展に取り組  
んでまいります。

また、昨今の物価上昇が長く  
続く厳しい状況の中、食料品等  
の高騰による市民負担を軽減す  
るための対策や意欲ある農業者  
に對しまして、地域の実情に  
応じた必要な支援を検討し、引き  
続き実施してまいります。  
皆様には、今後とも、本市の  
農業政策に、ご理解とご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。  
結び、皆様のご健康とご多  
幸を心からお祈り申し上げます。新  
年のあいさつといたします。

## 農地等の利用の最適化の推進に係る 要望書を市長へ提出しました

農業委員会では、農地等の利用の最適化を推進するため、「令和7年度農地等の利用の最適化の推進に係る要望書」を10月29日に市長へ提出しました。要望書の主な内容は、次のとおりです。

### 1 農地等の利用の最適化の 推進施策についての意見

- (1) 遊休農地の発生防止・解消に関する事
- (2) 担い手への農地利用の集積・集約化に関する事
- (3) 新規参入の促進に関する事

### 2 農業経営の充実に資する 施策等についての意見

- (1) 農業競争力の強化、地産地消の推進に関する事
- (2) 農業者への支援施策に関する事

### 3 農業基盤の整備・維持に 関する意見

- (1) 土地改良区内の個人情報  
の取り扱いについて
- (2) 基盤整備事業に関する市独自の  
広報及び事業について

### 4 その他

- (1) 農地所有適格法人の誘致について
- (2) 河川敷や農道、ため池周辺などの適正管理について
- (3) 生産調整目標面積の廃止について
- (4) 職員の増員について



## 農地利用実態把握調査票の提出を

調査票は令和8年2月20日(金)までに必ずご提出ください。

|       |  |
|-------|--|
| 調査の目的 | 農地の利用状況の確認や、農地の出し手・受け手の営農意向等を確認し、農地台帳の整備、農地の集積・集約化を推進するため、調査を行います。                 |
| 調査対象  | 市の東部地区に住所を有し、所有・耕作面積が1,000㎡以上の農家世帯<br>(東部地区：上大野・酒門・下大野・稻荷・大場)                      |
| 提出先   | ○ 農業委員会事務局（本庁舎5階）      ○ 農産振興課（内原庁舎3階）<br>○ 赤塚・内原・常澄出張所                  ○ 各市民センター |
| 提出方法  | ① 上記提出先に直接持参<br>② 同封されている返信用封筒を使用し、郵送にて返送  |
| 提出期限  | 令和8年2月20日(金)   |

《お問合せ先》 農業委員会事務局 調査広報係 ☎ 224-1111 (内線6411)

### 火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為は、事前に消防署へ届出をお願いします

廃棄物を野外で焼却する『野焼き』は法律で原則禁止されています。なお、禁止されている行為以外においても、消防署へ届出をした上で近隣住民の迷惑とならないよう十分ご注意ください。

#### 届出が必要なもの（一例）

河川敷の草焼き、地域行事等における門松やしめ縄の焼却、お焚き上げ、農地管理のための刈草の焼却・火入れ、防災訓練等時の模擬火災としての焼却、キャンプファイヤー、庭先でのたぎ火（調理や暖をとる目的）など

火入れを行う場合は、農政課へ相談してください

届 出：「火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出書」

方 法：①水戸市ホームページからダウンロードし消防署へ提出

②お電話にて消防署へ連絡

③電子申請で提出



消防への届出は、野外焼却の許可ではありません

#### 「火災警報」等が発令されているときは実施しないようお願いします

- 火災が発生しやすい気象状況の際に発令されます
- 水戸市ホームページやSNS等で確認してください



届出をした場合でも「大量の煙が出ていて臭いがする」などの通報があった場合、消防等が現地を確認し、消火をお願いすることがあります。

《お問合せ先》

消防局火災予防課 ☎221-0119

### 農業体験活動の パネル展を 開催します

本市では、未来をリードするこどもたちを対象に、生きる力を育み、地域農業への理解を深めてもらうため、農業体験活動の場を提供しております。市内12校で実施された農業体験の様子の写真や感想文等のパネル展を開催します。是非ご覧ください。

○ 令和8年2月2日(月)～2月12日(木)

水戸市役所本庁舎1階多目的スペース

○ 令和8年2月17日(火)～3月5日(木)

各市民センター



大場小 妻里小 常磐小 上大野小 上中妻小  
稻荷第一小 緑岡小 鯉淵小 赤塚小 飯富小  
内原小 下大野小

《お問合せ先》 農業委員会事務局 農政係 ☎224-1111 (内線6422)



## 気になる!! 今月号のテーマ 「女性農業委員の活躍」



7月31日に行われた「いばらき農業委員会女性協議会総会」では、80名を超える県内の女性農業委員が交流を深めました。研修では、事例に基づく情報共有を通して知識の向上や情報普及に努めています。県内で活躍する女性農業者の活躍についても広く発信し、農家の皆様へしっかり情報を届けていきます。



10月23日に行われた「関東ブロック女性農業委員研修会」では、関東7都県の女性農業委員が一堂に会し、事例発表や

情報提供活動の推進について研修を受けました。女性の農業委員が増えることで、多角的な視点から農業経営の発展や地域農業の振興に向けた取り組みが活発になることが期待されます。

# 水戸市 農業委員・農地利用最適化推進委員

## 募集

農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員と農地利用最適化推進委員（以下「推進委員」）の募集を行います。

### 職務内容

農業委員：農業委員会総会に出席し、農地法許可の審議等を行う。  
推進委員：担当区域において、遊休農地対策等の現場活動を行う。

### 募集期間

農業委員：令和8年2月16日(月)～3月18日(水)  
推進委員：令和8年4月16日(木)～5月18日(月)

### 募集人数

農業委員24人、推進委員20人

### 任期

農業委員：令和8年7月20日～令和11年7月19日  
推進委員：委嘱日(令和8年8月予定)～令和11年7月19日

### 応募方法

「農業者や農業団体等からの推薦」と「自らの応募」の2種類の方法があります。

応募手続の詳細は、募集要項をご覧ください。水戸市ホームページからダウンロードできる他、農業委員会事務局、各出張所及び各市民センターの窓口に備え付けております。

水戸市ホームページ：<https://www.city.mito.lg.jp/>

## 農業委員会活動報告

10月～12月

10月

3日(金) 第27回運営委員会  
10日(金) 第28回総会

15日(水) 農地利用最適化推進協議会  
17日(木) 西部・中部・東部地区連絡会

23日(木) 関東ブロック女性農業委員等研修会

29日(水) 市長要望書の提出

11月

5日(水) 第28回運営委員会  
13日(木) 農業委員視察研修会(～7日)

17日(金) 第29回総会

17日(金) 農地利用最適化推進協議会  
20日(月) 西部・中部・東部地区連絡会

12月

2日(火) いばらき農業委員会女性協議会  
4日(木) 会現地研修

12日(金) 第29回運営委員会

12日(金) 第30回総会

18日(木) 農地利用最適化推進協議会  
西部・中部・東部地区連絡会

18日(木) 持続可能な農業・農村を創る運動推進大会

## 委員のひまわり



水稲農家の長男として育った私は、結婚を機に家を継ぐ、家業を継ぐ、「一家の長男は跡継ぎ」そのようなことを勝手に考えるようになったことを思い出す。職場の上司は、20代後半の私に「大事なことだ」と言い、農閑期があるなら、時期社員でもと後押しをしてくれた。

父の元で、無知な私が稲作を手伝いはじめ今に至っているが、事業主となつてからも、市場原理のもとでの米価は右肩下がりでのこの職業を選んだ自身を責めた時もあったことを覚えている。しかし、令和6年秋、全国的な米不足から30年前と同じ米価での取引がなされたことは、水稲農家にとって大きな「サプライズ」であった。

米価高騰は、長年、低価格に苦しんできた農家にとって、待望の状況ともいえるが、これがいつまで続くのだろうかと不安な気持ちにもなる。農家の経営安定を目指して、米が適正価格で流通するような作付計画をつくり、希望に満ちた気持ちで、稲作の準備を進める日が来る事を願っている。

(推進委員 七字 倫範)